

2009年
12月3日

発行 日本共産党流山市議団

電話・ファックス

715716140

徳増きよ子議員

12月10日（木）午後1時頃

- 1、生活保護行政について
 - ①生活保護基準の引上げを国に求めていくべきではないか。
 - ②教育費の負担軽減について
 - ③法外援護について
 - ④「無料低額宿泊所」について
 - ⑤面接相談員業務の民間委託計画は撤回すべきではないか。
- 2、デマンドバス方式など公共交通網の拡充で、年をとっても暮らせる流山市にすべきではないか。
- 3、東部地域のまちづくりについて

いぬい紳一郎議員

12月10日（木）午後2時頃

- 1、貧困問題について市長に問う
 - ①貧困問題に対する認識と自治体の役割について
 - ②離職者に対するワン・ストップ・サービスの実施、市営住宅確保など具体的な生活支援策について
- 2、地球温暖化対策について
 - ①政府の中期目標、温室効果ガス25%削減について市長見解を問う。
 - ②流山市における温室効果ガスの排出状況と、これまでの削減の取り組みについて
 - ③総合的地球温暖化対策をどのようにすすめるのか。
 - 3、平和施策について問う
 - ①オバマ米大統領のプラハ演説の歴史的意義をどう受け止めているのか市長の見解を問う。
 - ②核兵器廃絶の運動を市民ぐるみで推進すべきと考えるがどうか。

高野とも議員

12月10日（木）午後3時頃

- 1、入札制度について
 - ①公契約とはどうあるべきと考えているのか、市長に問う。
 - ②低入札やダンピングを防ぐためにも、さらに制度を改善すべきではないか。
 - ③野田市に学び、公契約条例を制定すべきではないか。
- 2、国民健康保険制度について市長に問う
 - ①暮らしの破壊が進行する中、国保料を引き下げるべきと思うがどうか。
 - ②資格証明書の発行について
 - ③一部負担金の減免制度について
- 3、学校給食の民間委託について
 - ①民間委託で食教育の充実が図れるのか。
 - ②人件費と雇用実態について
- 4、運河駅周辺整備や東武野田線2号踏切拡幅など北部地域のまちづくりについて

巨大開発のムダを見直し「コンクリートから人へ」誰もが安心して暮らせる流山市を

敬老祝金削減！駐輪場指定管理はシルバー人材センターから民間企業に

鳩山新政権が、国民の注視のなか来年度予算編成をすすめています。後期高齢者医療制度廃止を先送りし、沖縄普天間基地の県外移設は混迷しています。事業仕分けでは、ヘリ空母など巨額の軍事費には手をつけず、科学技術予算や医療費削減などに批判が広がっており、過渡期的政権の性格が色濃く表れています。日本共産党は、4年ぶりの党大会開催を決め、建設的野党として、国民の立場で歴史を前に動かすために全力をつくしています。

流山市の12月議会は、来年度予算編成がすすめられている中で開かれます。敬老祝金の縮小、60名のシルバー会員が失職する民間企業への駐輪場指定管理者決定など、お年寄りイジメの議案が目立ちます。さらに、流山市の今後10年のまちづくりをどうすすめるのか、後期基本計画の審議がおこなわれます。

日本共産党は、一般質問で皆さんの声を市政に届け、文化会館駐車場有料化を撤回させるための条例案を提出するなど、市民の願い実現のためがんばります。

会期 12月3日～12月24日 22日間

（議案14件、請願・陳情5件・発議5件他）

12月 3日（木）本会議 午後1時開議
8日（火）～10日（木）

一般質問 午前10時～
11日（金）一般質問 午前10時～
一般質問終了後、各委員会に議案を付託

14日（月）総務、教育福祉委員会

15日（火）市民経済、都市建設委員会

16日（水）後期基本計画審査特別委員会

17日（木） ” いぬい紳一郎議員担当

24日（木）本会議 午後1時開議

議案・請願・陳情・意見書など採択

一般質問

小田桐たかし議員

12月10日（木）午前11時頃

- 1、市長の政治姿勢を問う
 - ①新しい政権について、市政や市民生活との関係で市長はどう捉えているのか。
 - ②来年度予算編成について
 - ア、来年度予算編成の特徴について
 - イ、『子育てするなら流山』『誰もが安心、住みよい流山』と実感できる市政の実現について
 - ウ、TX沿線巨大開発も根本的見直しすべきではないか。
 - エ、井崎市長版行財政『改革』は転換が必要と考えるがどうか。
 - 2、小山小前へのバス停設置など、中部地域のまちづくりについて

文化会館の駐車場を無料にする条例案を提案